

## 九州国際大学研究者情報

### 基本情報

所属	現代ビジネス 学部 国際社会学科	氏名	路 浩宇 Lu Haoyu
職名	准教授	E-mail	h-lu@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

#### ■ 学歴・取得学位

2013(平成25)年3月	名古屋大学大学院国際言語文化研究科修士課程修了 修士(文学)
2017(平成29)年9月	名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程修了 博士(文学)

#### ■ 主な職歴

2014(平成26)年10月	愛知工業大学基礎教育センター中国語非常勤講師 (2016年3月まで)
2017(平成29)年9月	名古屋大学人文学研究科博士研究員(2018年3月まで)
2018(平成30)年4月	関西学院大学国際学部中国語常勤講師(2023年3月まで)
2023(令和5)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部准教授(現在に至る)

### 教育活動

#### ■ 主な担当授業科目

○ 学部：入門セミナー、中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、外書講読(中国語)
---------------------------------

#### ■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：
○ 教育活動：
○ 免許・資格：

### 研究活動

#### ■ 研究分野

研究分野	中国語学、日中言語対照、中国語教育
主な研究テーマ	現代中国語受身表現、ヴォイス構文、教材編集
キーワード	受身表現、処置表現、主観性、プロトタイプ

#### ■ 主な著書・論文等

著書

- 日语副词的偏误研究 (中)、(共著) 浙江工商大学出版社、2021 年、(于康、苞山武義等著、于康、林璋編)
- 日语名词的偏误研究 (中)、(共著) 浙江工商大学出版社、2023 年、(于康、朴丽华等著、于康、林璋編)
- 現代中国語における非典型受身表現に関する研究 (単著) 朋友書店 2026 年

論文

- 中国語の自動詞述語受身表現について (単著) 2013 年、名古屋大学教養教育院『NU Ideas』Volume2、Number1、pp.22-31
- 关于使役兼表被动句的考察 (単著) 2013 年、名古屋大学言語文化研究会『ことばの科学』第 26 号、pp.121-132
- 他動詞が用いられる受身文について (単著) 2014 年、名古屋大学国際言語文化研究科『多元文化』第 14 号、pp.43-53
- 第一人称が動作主になる中国語の受身文 (単著) 2015 年、名古屋大学国際言語文化研究科『多元文化』第 15 号、pp.73-82
- 不定名詞句が主語となる中国語の受身文について (単著) 2015 年、愛知工業大学基礎教育センター『愛工業大学研究報告』第 50 号、pp.26-31
- 日中両言語における〈時間〉の認識 (共著) 2015 年、愛知工業大学基礎教育センター『愛工業大学研究報告』第 50 号、pp.53-57 (共同執筆者：韓涛路浩宇)
- 关于汉语中“被+非及物动词”构式发展趋向性的考察 (単著) 2015 年、名古屋大学教養教育院『NU Ideas』Volume4、Number 1、pp.1-6
- 不定名詞句が主語となる受身文に関する一考察—新聞記事に見られるケース— (単著) 2016 年、『現代中国語研究』第 18 号 pp.52-66、朝日出版社
- “被我”が用いられる受身文の成立について—発話者の主観性という観点から— (単著) 2017 年、名古屋大学国際言語文化研究科『多元文化』第 17 号 pp.91-104
- 中国語の受身文に表され発話者の主観性—無情物が主語となる受身文を中心に— (単著) 2017 年、『日中対照言語研究論集』第 19 号 pp.188-202、白帝社
- 中国語における受身表現の典型性について—プロトタイプ論によるアプローチ— (単著) 2018 年、名古屋大学教養教育院『NU Ideas』Volume7、Number1、pp.13-21
- 从言者主观性与信息论的角度浅谈保留宾语被动句的特征 (単著) 2019 年、名古屋大学言語文化研究会『ことばの科学』第 33 号 pp.107-116
- 中国語における目的語残存受身表現が用いられる語用的要因及びその情報伝達機能 (単著) 2021 年、『現代中国語研究』第 23 号 pp.38-48、朝日出版社
- 论“有”字句的习得偏误与教科书编写的关联性 (共著) 2022 年、『中国語教育』第 20 号 pp.33-53 (共同執筆者：路浩宇 韓涛)
- 『万葉集』における〈恋愛〉メタファーに関する研究 (共著) 2023 年、『九州国際大学国際・経済論集』第 12 号 pp.45-74 (共同執筆者：路浩宇 韓涛 彭語心)
- Can Artificial Intelligence Understand and Talk about Metaphors? :An Empirical Study on the Metaphoric Competence of ChatGPT (共著) 2024 年、『九州国際大学国際・経済論集』第 13 号 pp.40-69 (共同執筆者：Haoyu LU、Tao HAN、Yutao SUN、Chuan LIU)
- 不定 NP が主語に用いられる受身表現の語用論的効果 (共著) 2024 年、『東アジア言語文化研究』第 7 号 pp.188-199 (共同執筆者：路浩宇 望月雄介)
- Confucius and the Recluses (共著) 2024 年、『九州国際大学国際・経済論集』第 14 号 pp.37-54 (共同執筆者：Haoyu LU、Biqiang CHEN)

- On the Thoughts of Learning by Confucius (共著) 2025 年、『九州国際大学国際・経済論集』第 15 号 pp. 41-59 (共同執筆者: Haoyu LU、Biqiang CHEN)
- A Brief Discussion of Confucius' Ecological Thought (共著) 2025 年、『社会文化研究所紀要』第 86 号 pp. 1-21 (共同執筆者: Haoyu LU、Biqiang CHEN)
- On the Position of Zigong in the Confucian Academy (共著) 2025 年、『九州国際大学国際・経済論集』第 16 号 pp. 39-56 (共同執筆者: Haoyu LU、Biqiang CHEN)
- Critique of Confucius' Evaluation of Guan Zhong: A Reconsideration from the Perspective of the Relationship between Benevolence and Rite (共著) 2026 年、『九州国際大学国際・経済論集』第 17 号 pp. 41-59 (共同執筆者: Haoyu LU、Biqiang CHEN)
- 他動性が低い受身表現における補語の主観的評価機能 (共著) 2026 年、『日中言語対照研究論集』第 28 号審査済み、掲載予定 (共同執筆者: 路浩宇 望月雄介)

#### 学会発表

- 不定名詞句が主語となる中国語の受身文について (単独) 日本中国語学会東海支部例会、於: 南山大学名古屋キャンパス、2014 年
- “被我”が用いられた受身文の動機づけ (単独) 第 65 回日本中国語学会全国大会、於: 東京大学駒場キャンパス、2015 年
- 領主属宾句在被动域中的投射 (単独) “汉语句式问题”国际学术讨论会、於: 中国武汉华中师范大学、2016 年
- 关于汉语无定主语被动句的考察 (単独) 第 66 回日本中国語学会全国大会、於: 立命館アジア太平洋大学、2016 年
- 浅谈保留宾语被动句的语用功能—兼论与偏正结构主语被动句的差异— (単独) 第 67 回日本中国語学会全国大会、於: 中央大学多摩キャンパス、2017 年
- 浅谈保留宾语被动句的信息结构与篇章功能 (単独) 第 10 回現代中国語文法シンポジウム、於: 関西外国語大学、2019 年
- 「その日の朝、家族の人たちは全部早く起きました。」错在哪里? (単独) 日本語の誤用及び第二言語習得研究国際シンポジウム、於: 中国人民大学、2019 年
- 关于汉语教材中“有”字句的引入 (単独) 第 18 回中国語教育学会全国大会 (オンライン会議)、2020 年
- On the Topic and context setting in Chinese Grammar Teaching—Taking the introduction of “有” sentence in Chinese textbook as an example— (単独 英語) CASLAR-6 (第 6 届汉语作为第二语言研究国际研讨会) 於: The George Washington University, Washington D. C., USA (オンライン会議)、2021 年
- 应该使用「天气」, 还是「日」? (単独) 日本語の誤用及び第二言語習得研究国際シンポジウム、於: 中国西南大学 (オンライン会議)、2021 年
- 浅谈国际汉语教学中的跨文化理解—以在日教学实践为例— (共同) 第 22 届中国语言与文化国际学术研讨会 (ICCLC-22) 於: Singapore university of Social Sciences, Singapore (オンライン会議)、2022 年
- 不定 NP 主語が用いられる受身表現に関して—コンテキストの視点から見ると— (単独) 日本中国語学会九州支部例会、於: 福岡大学、2023 年

#### その他

- 《陈北溪与杨慈湖》(中国語訳表題)、原著名: 「陳北溪と楊慈湖」荒木見悟 原書名: 『中国思想史の諸相』中国書店、(共訳) 2020 年、『鵝湖』総 536 号 pp. 50-64、東方人文学術研究基金会中国哲学研究中心 (台湾) (共同翻訳者: 路浩宇 陳碧強)
- 「中国における高齢者のインターネット利用とシルバーデジタル格差—状況と対応」(日本語訳表題)、原著名: 《中国老年人的互联网使用与银色数字鸿沟: 状况与应对》孙鵬娟・田佳音、(共訳) 2022 年、愛知大学現代中国学会編『中国 21』第 55 号 pp. 151-174、東方書店 (共同翻訳者: 路浩宇 水谷友美)

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

日本中国語学会、中国語教育学会、日本語誤用と日本語教育学会、東アジア言語文化学会、日中対照言語学会
---

■ 受賞等

( )年 月	特になし
--------	------

■ 研究助成金による研究

<input type="radio"/> 特になし
----------------------------

社会における活動等

- 東レや三井不動産などの企業で、中国語圏の国へ駐在が決まった社員に対する駐在前教育の一環として行われる中国語教育を担当（2011年4月～2018年3月）
- 名古屋市税関「中国語検定試験4級講座」講師（2011年11月）
- 名古屋市天白区コミュニティセンター市民講座「楽しく学ぶ中国語の挨拶と食文化」講師（2016年8月）
- 南京大学杯中国語スピーチコンテスト参加者の発音指導（主催：南京大学海外教育学院、江蘇国際文化交流センター）（2016年12月）

大学運営活動等

- 九州国際大学国際センター委員（2023年4月～2025年3月）
- 九州国際大学現代ビジネス学会幹事（2024年4月～2025年3月）
- 九州国際大学教務委員（2025年4月～現在に至る）